

授業科目 成人看護学実習 II

| | | | | | |
|--|--|--------------------------------------|-------|------------|----------------------|
| 【担当教員名】 目黒 優子 他 | | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 看護 |
| | | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | | 単位数 | 2 | 時間数 | 90 |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | |
| 【概要・一般目標：G10】 急性期にある対象者の健康問題を理解し、回復へ向かうために必要な看護実践能力を養うとともに、急性期にある対象とその家族に対する必要な看護を習得する | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 健康障害に対する生体反応とその意味を理解し、その対象者の身体状態がわかる。 急性期にある対象者の身体的・心理的・社会的特徴が理解できる。 急性の健康障害をもつ対象者に必要な治療・処置・検査が対象の生活に与える影響について記述できる。 急性期から回復期に至る対象者の健康問題を把握し、対象者に応じた看護計画を立案し、看護の実践および評価ができる。 回復期から維持期に至る変化を予測し、社会復帰に向けて自立を促進するための教育的働きかけが理解できる。 対象者のQOLを支える保健・医療・福祉の連携およびチームにおける看護職の役割を理解し、退院を視野に入れた継続した看護の必要性が理解できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| | 実習オリエンテーション 病院実習 急性状態にある患者を受け持ち、看護実践を行う カンファレンスを通して、受け持ち患者の理解を深め、急性期看護の学習を深める | | | | |
| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> | |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | | |
| 参考書 | 適宜、提示する | | | | |
| その他の資料 | 授業で配布した資料 | | | | |
| 【評価方法】 実習内容、実習記録、出席状況、実習態度などを総合して評価する | | 【履修上の留意点】 健康管理に留意し、欠席しないようにしてください | | | |